

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第10号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

東風季報

発行 東北風景写真家協会
仙台市宮城野区榴ヶ岡3-8-15
東北カラーデューブ(株)内
tel: 022-256-2141
編集 秋葉・進藤

第2回写真展「美しい日本」 来年2月開催の準備・順調に進行中

東北風景写真家協会の主要な活動の一つであり、会員の皆様も心待ちされていた第2回写真展「美しい日本」は、昨年より開催する会場や方法等の準備を役員一同頭を絞って進めておりましたが、前号にてお知らせ致しましたように仙台メディアテークにて来年2月5日(金)～10日(水)の期間で開催されることになりました。その準備が藤枝写真展チーム幹事の下、着々と進められております。是非お楽しみにお待ちください。

11月30日現在会員数は96名(来年1月付で2名加入予定)おりますが当初、往復はがきにてご案内し、9月18日申し込み締切日までに出席の返事を頂いた会員は40名そこそこの状況です。その後、藤枝チーム幹事と竹内正顧問が返事の届いていない会員を中心に努力頂いた結果11月18日の作品のプリント申し込み締め切りまでに依頼された会員数は53名、出展作品数は96点となりました。前回第1回写真展の出展者も53名で、くしくも出展者数は同じとなりました。ただし、今回は会場の展示スペースの関係で一人1点の展示としたので出展作品数としては今回のほうが多くなっております。かなり見応えがあると思います。今回の写真展開催にあたり出展者の中で展示作品を竹内正顧問に見ていただいていたという方が24名おおいになりました。

写真の真つ只中において大変お忙しいところを11月2日(月)と5日(木)にお時間を作っていただき、藤枝チーム幹事とお二人で戦災復興記念館5階第一和室を借りてそれぞれの日に午前と午後の時間帯に割り振って選考を行いました。お二人には2日間貴重な時間を拘束致しましたこと深く感謝いたします。選考を受けたられた会員もお手持ちの作品の中で自分が一番気に入った作品を展示できることになったと思います。第一回写真展の折には竹内敏信名誉顧問と椎名亮介顧問の作品を会場に展示し好評を博しましたが、今回は写真展費用の中で会場の借料が大変大きくなりました。しかし竹内名誉顧問は大病後もお元気に活躍をされてお

標準露出と適正露出 顧問 竹内正

写真は周知のとおり、感光材料(フィルム)や撮像素子(デジタル)に光を当てる(感光)により撮影されます。感光させるにはシャッターと絞りで露出(感光させる量)を調整する必要があります。そこで問題になるのが露出の定義です。フィルムや撮像素子の有している基本性能を忠実に表現する露出。最近のカメラでは露出機能が進歩しているので、カメラの指示通りに行うのが一般的です。標準露出(ISO100、f8、1/125)に合わせた作品に仕上げたい場合には、露出補正をして意図的に明るくしたり、暗く設定する露出が適正露出です。

標準露出

フィルムや撮像素子の有している基本性能を忠実に表現する露出。

適正露出



撮影者の作画意図に合った露出に設定すること。

例1

露出をオーバー(+2補正)にしてハイキー調にし幻想的な雰囲気を出しています。

例2

露出をアンダー(-2補正)にしてローキー調にし暗い不気味なイメージに表現しています。



第1回撮影実習セミナー終わる

11月のめまぐるしい天候の変化の中、「第1回撮影実習セミナー」が勾当台公園、定禅寺通りで撮影会場に行われました。当日17名の参加があり、雨の中の過酷な撮影となり、撮影したフィルムは昼に現像に出し、その後、セレクトされた作品をプロジェクターにセットして竹内顧問の講評をいただきながら、会場は和やかな雰囲気になりました。雨で大変だったが、雨降りならではの作品を短時間で写し、新鮮な感覚の中で講評を受けられ、非常に有意義な実習セミナーであったとの声が多く聞かれました。次回も計画してほしい由、要望があり成功裏のうちに終了いたしました。2009年11月 (丸山慎一)



メディアテーク メディアテーク 勾当台公園

第4回定時総会 開催予定のお知らせ

平成21年度も余すところ約1ヶ月、新年度の事業計画については各担当で、その折には是非とも役員で準備を進めており、ご出席くださいます様ですが、当面は第2回写真展開催の準備に役員一同注力いたしております。上記事情から新年度の総会の1月開催は日程的に厳しいので今のところ2月14日(日)午後2時からを予定しております。

ゆうちよ銀行 181900
14388881

撮影後、気に入った作品をプリントしますが分かっていない様でよく理解できていないのがプリントサイズです。参考までに左に記載してみました。

名称	縦横	縦横	インチ	画面サイズ(ミリ)
正方形	1:1	1:1		
四切	5:6	1:1.2	10x12	240x290
半切	5:6	1:1.22	14x17	343x417
大切	5:6	1:1.2	20x24	490x590
六切	4:5	1:1.26	8x10	190x240
小切	4:5	1:1.33	16x20	393x492
全紙	4:5	1:1.23	18x22	447x550
八切	3:4	1:1.4	6x8	154x205
キャビネ	1:2	1:1.4	5x7	119x167
A4	1:2	1:1.4		210x297
A3	1:2	1:1.4		297x420
A2	1:2	1:1.4		420x594
A1	1:2	1:1.4		592x841
W6切	2:3	1:1.45		203x305
W4切	2:3	1:1.45		254x368
全倍	2:3	1:1.45		600x900

お知らせ

写真コンテスト上位入賞者 大人の紅葉旅2009 渡邊 善夫 若手県・中尊寺 第11回太平洋写真学校 北上教室 フォトコン グランプリ 渡邊 善夫 北上川河口 新規入会会員紹介 宮城県仙台市 鈴木 俊介 宮城県仙台市 高橋 利勝 山形県山形市 田口 忠宣 宮城県仙台市 黒田 勝夫 以上4名の方が入会され11月現在98名です。

当会会員の写真展紹介 宮城県仙台市 高橋 信一 「四季の余韻」 宮城県仙台市 進藤 弘融 「憧れレンズの世界」 場所 富士フィルム フォトサロン仙台 期間 1月28日(木)～2月2日(火)まで 時間 午前10時～午後5時30分

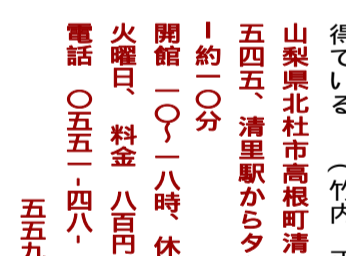
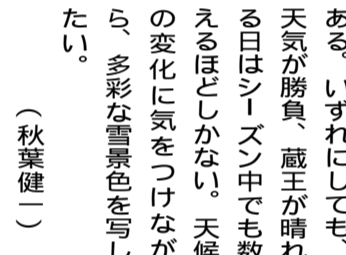
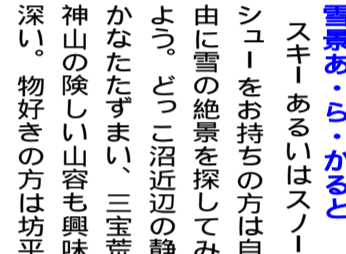
当会会員の高橋信一氏と進藤弘融氏が右記要領で写真展を開催します。高橋氏は同所で2008年2月に「四季の余韻」を開催しており、今回もPartとして大判カメラ(4x5インチ)にて写した鮮明な作品に奥様の共作の短歌を添えて展示します。進藤氏は初めての個展で中判カメラと35ミリカメラにツイアイスのレンズをつけて撮影した風景を展示します。会員の皆様も機会が御座いましたらお出掛けください。

蔵王 雪の絶景を撮る

日本有数の蔵王スキー場は景観の変化も多彩でアクセスにも都合が良い。山形自動車道を山形蔵王ICでおり西蔵王高原ライン(有料)を通ると、除雪された道路が各ロープウェイ乗り場に通じている。

樹氷

蔵王ロープウェイ山麓線で樹氷高原駅につく。この周辺は樹木に積った雪景色が美しいので、レンズを向けたい。山頂線に乗り継ぐと、針葉樹林帯の上を通り、地蔵山頂駅につく。一帯は樹氷原となっており、まず山頂駅に併設しているレストランの屋上に出



て、三百六十度の展望を楽しもう。山頂駅を出ると、巨大なモンスター群に接することができる。お地蔵さんの近辺は樹氷見物の観光客でにぎわっている。周辺は長靴で歩けるが、ロープ外は雪が深く道を見失うので気を付けよう。

霧氷 中央ロープウェイ鳥兜駅付近が霧氷の撮影スポットとしてお勧めである。樹木の細い枝が白く氷結した霧氷は、特に、朝日に輝いた時が美しい。露出は難しいので、逆光も含めて、段階

長靴でも行ける地点について紹介したが、かんじきスノーブーツキングなどの希望者は蔵王観光協会(0123-6491-9328)に申し込むと良い。

ライザワールドに行くのと、ペアリフトが樹氷帯に入っていくので壮大な景観に出会える。他に雪上車を利用して、宮城蔵王すみかわスノーパークからお釜の手前まで行くワイルドな樹氷ツアーもある。いずれにしても、

スキーあるいはスノーシューをお持ちの方は自由に雪の絶景を探してみよう。どこぞ沼辺の静かなたたずまい、三宝荒神山の険しい山容も興味深い。物好きの方は坊平

露出をしておきたい。この中央ゲレンデからパラダイスゲレンデ界隈はスノーシューで歩いても楽しい。雪の中の三脚は固定や操作もままならない。手持ち撮影できるように工夫したい。

雪景あ・ら・かると スキーあるいはスノーシューをお持ちの方は自由に雪の絶景を探してみよう。どこぞ沼辺の静かなたたずまい、三宝荒神山の険しい山容も興味深い。物好きの方は坊平

深い。物好きの方は坊平

深い。物好きの方は坊平

余り利かなければ近くのモンスターをねらう。真っ白な紙に墨絵をノリシューで歩いても楽しい。雪の中の三脚は固定や操作もままならない。手持ち撮影できるように工夫したい。



本州で一番高所を走るJR小梅線、八ヶ岳山麓の清里駅から異国情緒豊かな原色のペンション街をぬけると、清里高原の澄んだ大気と自然に包まれた写真美術館「清里フォトアートミュージアム」がある。「生命(いのち)があるものへの共感」をテーマに国内外の写真作品を多数収蔵常設している。(竹内 正)

今、カメラという「静止画を残す道具」の概念が崩れようとしています。デジタルカメラはまだ良いとしても、カメラ付き携帯電話、静止画が撮れるビデオカメラ、画像の撮れる携帯ゲーム機など、恐れ入谷の鬼子母神(古)である。今の若者は映っている良いのである、ということがある。街の写真屋さんは、いかに若者の画像をプリントさせるか真剣に考えているが、ひよっとしたら徒勞に終わるのかも。そんなある日、とてもホッと光景を目の当たりにして、ちょっと嬉しかった。十一月某日、仙台市郊外の小さな喫茶店に何気なく、コーヒーが飲みたくてふらつと入った。壁にはこのオーナーが撮影したのか、大小のパネル貼りの白黒写真。日常の何の変哲もないスナップだがどこか海辺の風景も、でも私がホツとしたのは、その喫茶店の空間もそうだが、カウ

今、若い女性の間で簡単な構造の「トイカメラ」は、ちよつとしたブームになっていいます。完成品は価格も4500円位から一万円弱まで。でも彼女は自分で組み立てるキットを購入し、カメラのシャッターや絞りの仕組みを実感しながらひとつひとつ丁寧に組み立てているのです。今、流行の「女子カメラ」でしょうか。こんな形でも、フィルムカメラは生きています。(丸山慎一)

中判カメラの特徴については、会報8および9号にて佐々木氏が分かりやすく解説しております。私が愛用しているのはペンタックス645Nで、フィルムはロー二判で、撮影データが記録出来ます(露出・絞り・シャッター速度等多数)。ここでは目的により使い分けているいくつかのsmcペンタックスレンズの特性について要点を述べます。

標準レンズ (FA645、75ミリ、F2.8オートフォーカス(AF仕様))

望遠ズーム (FA645ズーム80-160、F4.5、AF仕様)

広角ズーム (FA645ズーム33-55、F4.5、AF仕様)

マクロレンズ (FA645マクロ120ミリ、F4、AF仕様)

特徴いろいろ

カメラ本体・各種レンズ等重量が重い(日頃のトレーニング必要)。35ミリに比べると機動性が劣る。

中判カメラの最大の魅力はプリント時のシャープな画質です。全倍位まで引伸ばしてもシャープな画像が得られる。

今、若い女性の間で簡単な構造の「トイカメラ」は、ちよつとしたブームになってい

今、若い女性の間で簡単な構造の「トイカメラ」は、ちよつとしたブームになってい

中判カメラ レンズ特性いろいろ



マクロ 120 mm

今、若い女性の間で簡単な構造の「トイカメラ」は、ちよつとしたブームになってい

今、若い女性の間で簡単な構造の「トイカメラ」は、ちよつとしたブームになってい

今、若い女性の間で簡単な構造の「トイカメラ」は、ちよつとしたブームになってい